

郡山商工会議所 7月常議員会 郡山市長講話

「選ばれるまち郡山」の実現を目指して



令和7(2025)年7月15日(火)
郡山市長 椎根 健雄

1. 私のプロフィール
2. 郡山市政における3つの基本方針
3. 令和7年6月補正予算の概要
 - (1) 「3つの柱」の主な取組
 - (2) 主な取組事業概要
4. その他

私のプロフィール



しいね たけお
椎根 健雄

1977年（昭和52年）1月20日生
郡山市日和田町在住

学 歴

- ・ 郡山市立大島小学校卒業
- ・ 郡山市立郡山第五中学校卒業
- ・ 福島県立安積高等学校卒業（108期）
- ・ 新潟大学農学部卒業

主な経歴

- ・ 2007年（平成19年）6月 参議院議員秘書
- ・ 2011年（平成23年）11月 福島県議会議員（1期）
- ・ 2015年（平成27年）11月 福島県議会議員（2期）
- ・ 2019年（令和元年）11月 福島県議会議員（3期）
- ・ 2023年（令和5年）11月 福島県議会議員（4期）
- ・ 2025年（令和7年）4月 郡山市長（1期）

私が掲げる郡山市政における **3** つの基本方針

1. 選ばれるまち

2. 暮らしの充実・笑顔になれるまち

3. 経済の活性化

- ・ 農商工の多様な産業がバランス良く共存する「経済県都」
- ・ 地元中小企業の成長支援、新たな企業の誘致、観光資源の磨き上げ、郡山産品の国内外販路拡大支援
- ・ 持続可能な地域経済の発展

若者が郡山で働き、暮らし、家族を築く未来を支える経済環境の整備

日本が人口減少・少子高齢化という厳しい課題に直面するなか、安積開拓で培われた本市のポテンシャルを最大限に引き出し、「3つの柱」で市政発展に取り組んでまいります。

選ばれるまち

①渋滞緩和で魅力向上

渋滞緩和に向けた西口ロータリーの改修等を実施【新】

6,000万円

郡山駅西口ロータリーの改修をはじめ、郡山駅周辺全体の渋滞対策等に取り組みます。

【P6】

②魅力発信・関係人口創出

こおりやま広域圏の魅力向上策促進【拡】

870万円

こおりやま広域圏の魅力を発信し関係人口の創出を図ります。

【P21】



暮らしの充実・笑顔になれるまち

①子どもたちの未来を全力で応援

放課後児童クラブの夏季教室を試行的に開設【新】

92万円

夏休み限定の児童クラブを試行的に開設します。

【P9】



②自然災害に強いまちづくり

愛宕川（善宝池）等の浸水対策を実施【継】

3億2,466万円

愛宕川（善宝池）等を改修し、浸水対策を進めます。

【P24】

経済の活性化

①戦略的輸出・販路拡大

農工商等連携による販促拡大【継】

194万円

国内外における農林水産物・食品等の戦略的な販路・輸出拡大を図ります。

【P15】



②潜在的起業家発掘

KORIYAMA発スタートアップをサポート【新】

457万円

起業家の資金調達支援と、次世代の起業家育成に取り組みます。

【P16】

新 渋滞緩和に向けた西口ロータリーの改修等を実施

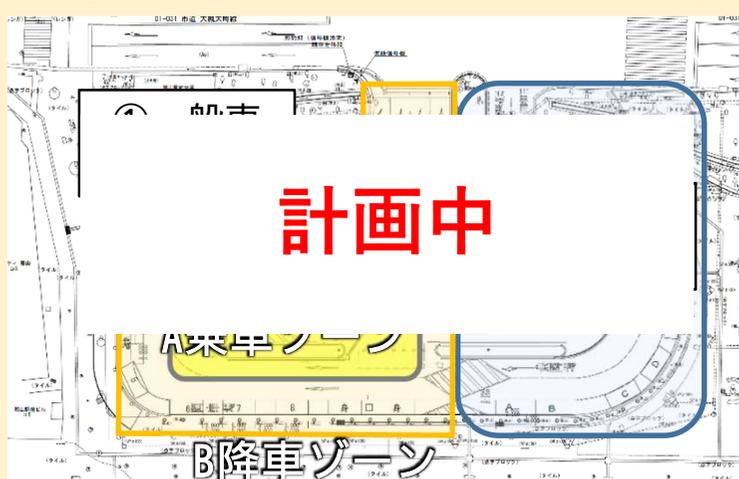
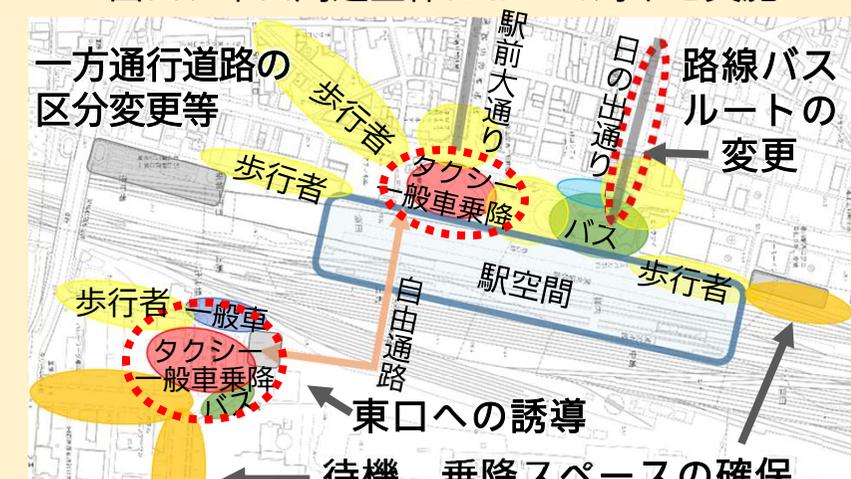
～駅前広場施設改修事業費の一部～



6,000万円

財源区分：単独

郡山駅西口ロータリーの改修をはじめ、郡山駅周辺全体の混雑対策等に取り組みます。

	短期対策	中期対策	長期対策
対策	<p>社会実験 一般車の待機場所を設置</p> <p>↓</p> <p>中・長期対策へ反映</p> <p>令和7年度社会実験活用箇所(案)</p> <p>①タクシープール ②郡山駅西口駐車場 ③郡山駅周辺の市道の路肩</p>	<p>郡山駅西口ロータリーの改修 一般車ゾーンとタクシーゾーンの分離等</p> 	<p>郡山駅周辺全体の渋滞対策 西口、東口周辺全体において対策を実施</p> 
令和7年度		<p>○基本設計：一般車及びタクシーゾーンの位置や進入ルート等を検討</p>	<p>○基本構想：改善すべき箇所を検討 ○交通量調査 ○交通量予測</p>
令和8年度	<p>○実証実験等</p>	<p>○実施設計：改修工事に向けた詳細な設計</p>	<p>○基本計画：基本構想を実行するための具体的な方法等を検討 ○補足調査</p>
令和9年度		<p>○改修工事</p>	<p>○対策の実施：路線バスルートの変更、一方通行区分変更等</p>

① デジタル新技術を活用した舗装点検を実施



617万円

財源区分：単独

～道路ストック整備事業～

従来の人手中心の舗装点検からデジタル新技術を活用した舗装点検により作業を効率化し、適切な舗装の補修につなげることで、市民の安全・安心の確保を図ります。

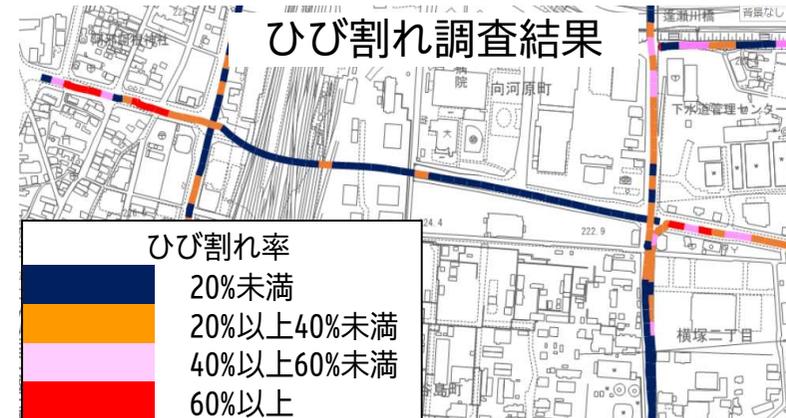
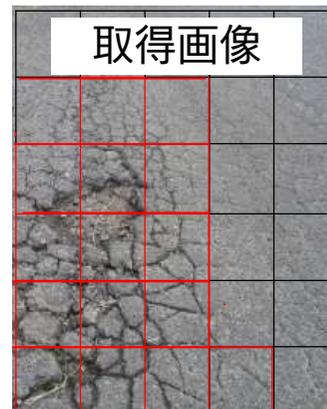
② 道路劣化診断システム 320万円

- 実施箇所
幹線道路、生活道路
- 実施内容
公用車にカメラ等を取り付け職員によりパトロールを実施し、損傷度をAI解析



③ 舗装定期点検 297万円

- 実施箇所
幹線道路
- 実施内容
点検業者へ委託し、専用車両によりひび割れ率をAI解析



新 東部地区でデマンド型交通導入の社会実験を実施

～公共交通サービス維持対策事業～



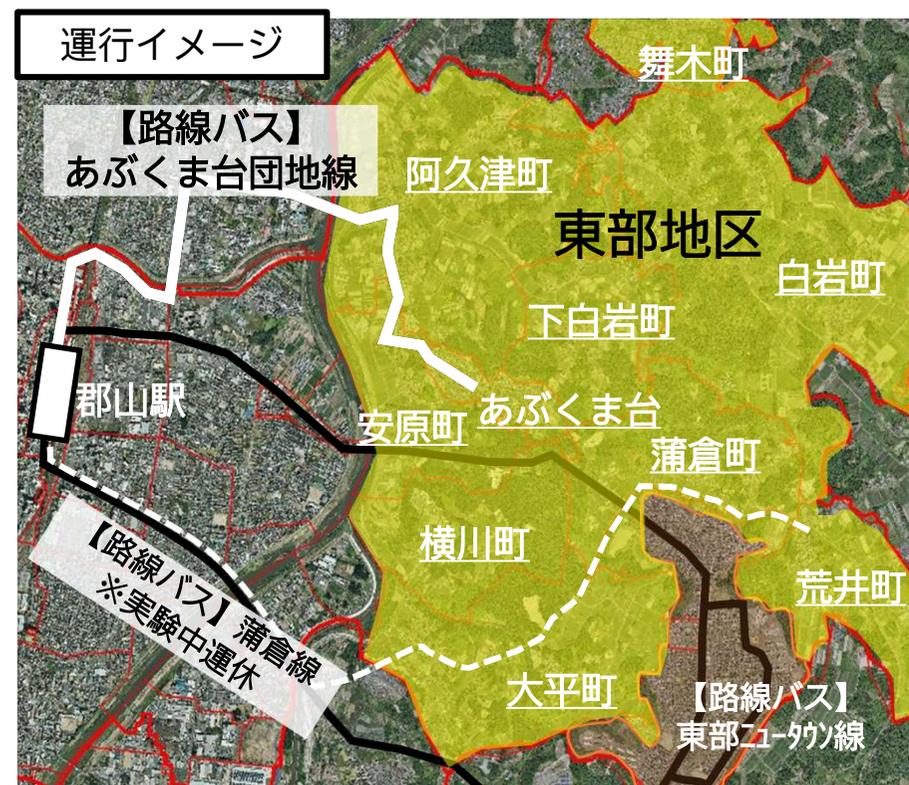
507万円

財源区分：補助 国1/2

大規模商業施設や医療施設等が立地しておらず、公共交通空白地の割合が高い東部地区において、デマンド型交通の導入可能性を検討する社会実験を実施します。

1 社会実験の内容

運行	①通勤通学時間帯 既存路線バス（あぶくま台団地線）を運行	※実験中は 蒲倉線を 終日運休
	②上記以外の日中 路線バスの代わりに、 <u>ワンボックス型車両を活用したデマンド型交通</u> を“乗り合い”にて運行	
対象者	誰でも利用可	
予約	電話等による事前予約制	
運賃	1人1回500円、障がい者・高校生以下250円	



2 事業スケジュール

令和7年度			令和8年度	
7～9月	10～12月	1～3月	4月～	
入札契約	運行実験準備 事業周知	社会実験 2か月	結果分析	導入準備

【目標】東部地区の公共交通カバー率の改善



新 放課後児童クラブの夏季教室を試行的に開設



92万円

～放課後児童クラブ指定管理費・放課後児童クラブ施設整備費～

財源区分：補助 国1/3、県1/3

小学校高学年生について、特に日中過ごす時間の長い夏季休業期間の居場所を懸念する保護者の声があることから、夏休み限定の児童クラブを試行的に開設します。

開設場所

行健小学校（既存教室を夏季のみ利用）

○待機児童数が最も多い行健小学校に設置し、近隣の小学校の児童も受け入れます。



募集人数

35名（行健・行健第二・日和田小学校の児童対象）

開設期間

夏季休業期間（7月21日から8月24日まで）

○日曜・祝日・お盆期間（8/13～16）を除く

運営

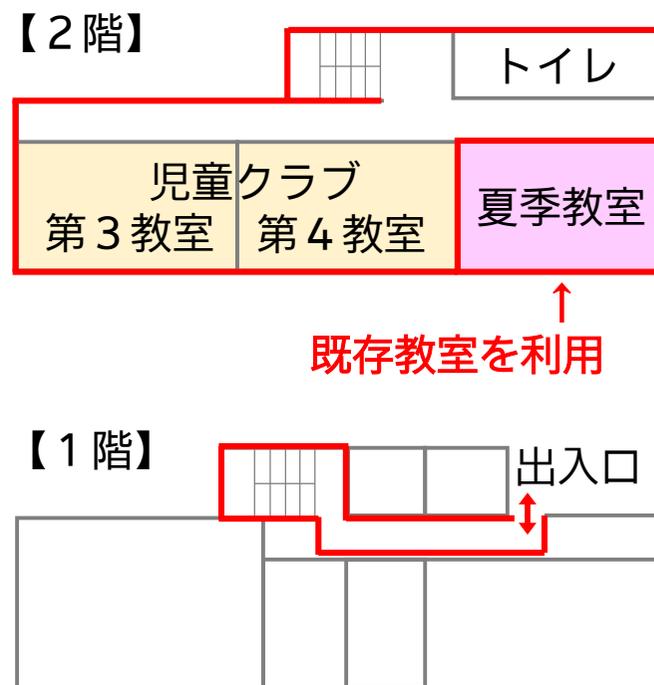
指定管理者

予算額

91万7千円

(内訳) 指定管理料 77万4千円
 施設整備（備品リース及び消耗品購入） 14万3千円

開設場所平面図



新 AI を活用した相談内容要約システムの導入



755万円

～福祉まるごと支援事業～

財源区分：補助 国1/2

福祉分野の相談業務に相談内容要約システム（生成AI）を導入し、業務の効率化による更なる「市民サービスの向上」と職員の「働き方改革」を推進します。

1 導入の背景

- 市民からの相談対応において、複合的な課題を有する複雑化した相談（8050問題・ダブルケア等）が年々増加
- 相談後の相談記録作成に相当の時間と労力が必要

2 相談内容要約システムの内容と機能

① AIによる職員サポート

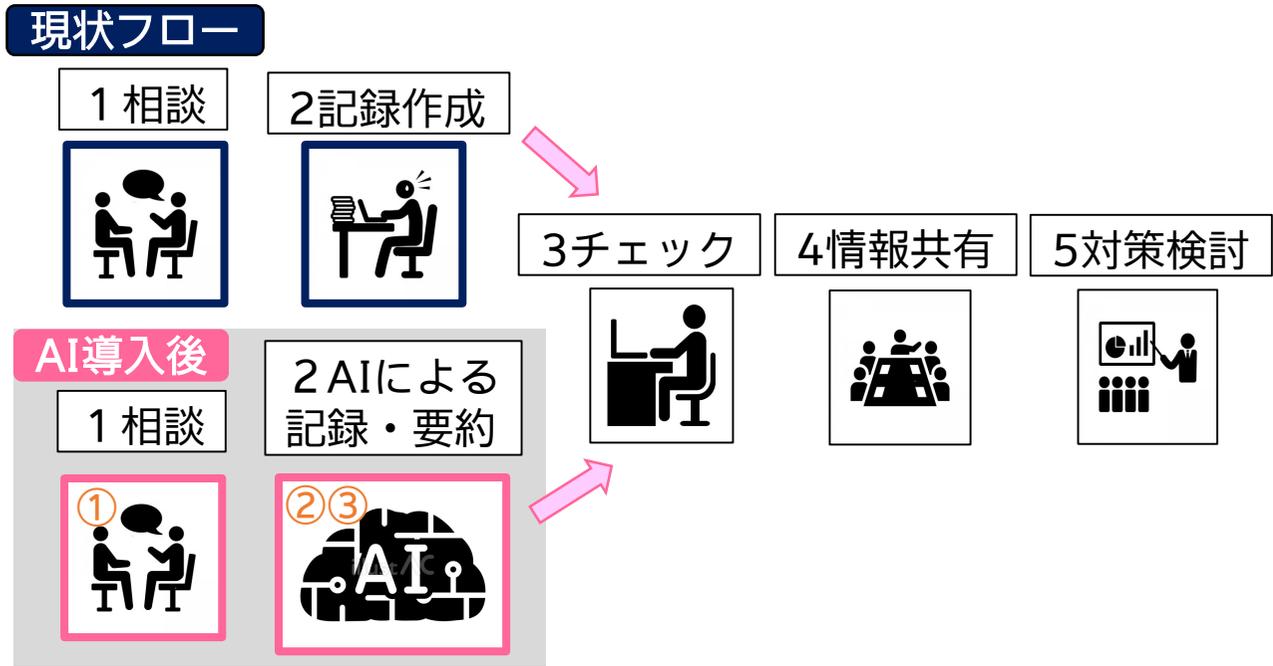
- ・職員が聞き取るポイントや相談者への支援策をAIが瞬時に表示し職員をサポート
- ・職員の知識量や経験差に関わらない相談体制を確立

② AIを活用した記録・高精度な要約

- ・相談時に相談内容をリアルタイムで記録
- ・記録作成に係る時間を大幅に縮減可能
- ・窓口(対面)のみでなく電話や外出時でも対応可能

③ AIを活用した記録の向上

- ・聞き漏れや記憶漏れを防ぎ全て記録



継 若い世代の結婚新生活を応援

～結婚新生活支援事業～



4,302万円

財源区分：補助 国2/3

結婚に伴う経済的負担を軽減するため、新婚世帯に対し、結婚に伴う新生活のスタートに係るコスト（新居の家賃や引っ越し費用等）の一部を補助します。



対象者

婚姻した夫婦

○婚姻日：令和7年1月1日から令和8年3月31日まで

対象年齢

39歳以下

○夫婦ともに婚姻日における年齢



対象世帯

合計所得額（令和6年分）500万円未満

補助上限額

1世帯あたり30万円

補助対象

婚姻に伴い
令和7年4月1日から
令和8年3月31日までに支払った

- ①新居の購入費
- ②新居の家賃（最大6か月分）
敷金・礼金・共益費・仲介手数料
- ③引っ越し業者や運送業者に支払った新居への引っ越し費用

新 遠方での妊婦健診等の交通費を支援



852万円

～妊娠・出産包括支援事業、母子医療対策事業～

財源区分：補助 県1/2 等

遠方（概ね60分以上の移動時間を要する場合）で、妊婦健診を受診した妊婦や、体外受精・顕微授精等を受けた夫婦に対して交通費を助成します。



新 妊婦健診 17万円

- ・最寄りが遠方の医療機関
- ・医学的見地から県立医大など遠方の医療機関



助成額

往復の交通費（自家用車・鉄道・バス）実費の8割

妊娠一回の対象回数

14回まで

新 体外受精等 835万円

福島市・宮城県等、遠方の医療機関



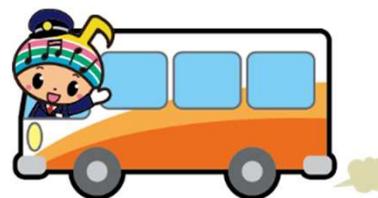
助成額（基準額）

福島市 1 千円
宮城県 3 千円 等

一連の治療回数

8回まで

概ね60分以上移動



概ね60分以上移動

住所地



妊婦健診の場合
里帰り先を含む



新 中学校給食センターを集約化・新設



141億3,208万円
(債務負担行為)

～中学校給食センター整備事業～

財源区分：補助 国1/3・市債 等

富久山町と片平町にある2つの給食センターを集約し、PFI手法により、新しい給食センターをAGC郡山カルチャーパーク駐車場の一部に整備し、運営します。

事業概要

- 衛生管理基準に適合し、安全・安心で栄養バランスのとれた給食を安定提供できる施設を整備
- 気候変動に対応し、持続可能で経済的・効率的に給食が提供できる適正規模の集約化した施設を整備
- 民間活力導入(PFI方式)による一体的な施設整備と管理運営を行い、サービス水準の向上と財政負担を縮減

整備施設

- 調理能力：8,500食/日
(市立中学校22校に配送)
- 新たに導入される主な機能
 - ・ 炊飯設備/防災機能 ・ アレルギー調理室
 - ・ 厨芥(ちゅうかい)処理機能 (ごみ減量減容化)
 - ・ 環境負荷低減 (例：ZEB、太陽光発電、太陽熱利用等)
- 整備予定地

整備スケジュール

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度～		
	6月補正予算：整備・運営費債務負担行為設定 事業期間：18年間 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>整備：R8～R10</td> </tr> <tr> <td>運営：R10～R25(15年間)</td> </tr> </table>				整備：R8～R10	運営：R10～R25(15年間)
整備：R8～R10						
運営：R10～R25(15年間)						
	限度額：約142億円 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>整備：約60億円</td> </tr> <tr> <td>運営15年間：約5億円/年</td> </tr> </table>				整備：約60億円	運営15年間：約5億円/年
整備：約60億円						
運営15年間：約5億円/年						
公募準備	公募選定	設計・建設		給食提供(15年間)		
測量・設計	進入路等整備					





3億7,574万円

財源区分：補助 県等

② 国民健康保険税率等の本算定を実施

～国民健康保険事業〈国民健康保険特別会計〉～

国民健康保険特別会計における本算定を行い、令和7年度の(1)税率等については据え置きます。また、地方税法施行令の改正を受け、(2)課税限度額については基礎課税(医療)分及び後期高齢者支援金等分を法定まで引き上げるとともに、軽減判定所得を法定まで引き上げ、(3)軽減対象の拡大を図ります。

令和7年度税率等及び課税限度額

(1)税率等 現行のままで据え置き

(2)課税限度額 現行から引き上げ(基礎課税分 **65万円→66万円** 後期高齢者支援金等分 **24万円→26万円**)

(3)軽減対象の拡大

低所得者層の負担軽減のため、軽減判定所得を法定まで引き上げる

- ・2割軽減 43万円+(**56万円(1万5千円引き上げ)**)×被保険者数)+10万円×(給与所得者等の数-1)以下
- ・5割軽減 43万円+(**30.5万円(1万円引き上げ)**)×被保険者数)+10万円×(給与所得者等の数-1)以下
- ・7割軽減 43万円+10万円×(給与所得者等の数-1)以下(※改正なし)

区分		基礎課税(医療)分	後期高齢者支援金等分	介護納付金分
税率等	所得割	7.3%	2.9%	2.2%
	均等割 <1人あたり>	23,100円	8,000円	10,500円
	平等割 <1世帯あたり>	18,400円	6,400円	5,300円
課税限度額		<u>660,000円</u> (+10,000円)	<u>260,000円</u> (+20,000円)	170,000円

※ ()内は、現行額からの増減分

② 農商工等連携による販路拡大

～郡山産農産物等販売促進事業・海外交流販路開拓支援事業～



194万円

財源区分：単独

国内外の販促活動により、農林水産物・食品等の戦略的な販路・輸出拡大を図ります。

③ 郡山産農産物等販売促進事業 175万円

全国に誇れる本市の産品を、首都圏等においてPRします。（連携：こおりやま食のブランド推進協議会）

1 販促キャンペーン計画（案）

J A 福島さくら青果物販売対策トップセールス

【7月 東京都内】JA、生産者、自治体が一体となってPR

ふくしままるごとフェア

【9月 東京都内】県内自治体と連携

こおりやま観光物産フェアin奈良

【10月 奈良市】姉妹都市交流、並びに農作物等PR

渋谷区くみんの広場

【11月 東京都内】災害時相互応援協定都市との交流と農作物PR

2 本市特産品

あさか舞、ASAKAMAI887、郡山ブランド野菜、鯉、阿久津曲がりねぎ、日本酒、梨、うねめ牛、ワイン 等



あさか舞



ASAKAMAI 887

3 補正予算の内容

首都圏等での販促活動

③ 海外交流販路開拓支援事業 19万円

欧州連合（EU）の国際都市・地域間協力プログラム※（2017～2023）のご縁を活用し、戦略的な販路・輸出開拓を図ります。

※国際都市・地域間協力プログラム

持続可能な都市の発展とイノベーションの推進を目的に、エッセン市（ドイツ）、グルノーブル・アルプス都市圏（フランス）並びに愛知県豊田市と連携

1 方向性

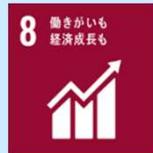
- ・成長する海外市場で稼ぐ方向への転換
- ・輸出、販路拡大による地域産業の振興



2 補正予算の内容

ドイツ・NRW州経済振興公社のイベント（東京）等への出席

新 KORİYAMA発スタートアップをサポート



457万円

～創業・事業承継支援事業～

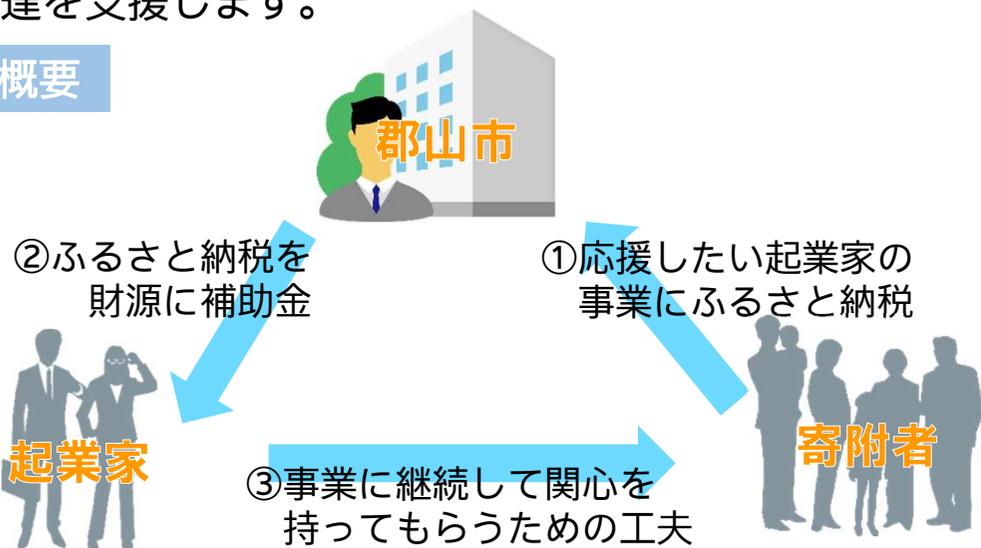
財源区分：補助 国1/2等

スタートアップや事業創出、販路拡大を目指す事業者を後押しするとともに、次世代の起業家育成に取り組みます。

新 ふるさと起業家支援事業 100万円

本市で事業を立ち上げた起業家に、クラウドファンディング型ふるさと納税の仕組みを活用し、資金調達を支援します。

1 概要



2 支援内容

対象者：こおりやま広域圏内の起業家（創業10年未満）

補助額：100万円（財源：ふるさと納税）

新 起業家教育事業 357万円

「起業家精神」や「ビジネス知識」を起業家から学ぶ教育プログラムを実施し、次世代の起業家を育成します。

1 概要

対象：こおりやま広域圏内の高校生等（20名程度）

内容：先輩起業家による講演・レクチャー
社会課題解決に向けたワークショップ
事業アイデアのブラッシュアップ
報告会でのプレゼンテーション

計画：10月～ 参加者募集
12月頃 プログラム（2日間）
～2月 個別支援
3月 発表会



2 補正予算の内容

起業家教育プログラムの実施

新 事業者の省力化投資と脱炭素経営をサポート



400万円

～こおりやま中小企業活性化事業～

財源区分：単独

売上拡大や生産性向上を後押しするため、人手不足解消を実現する省力化への投資や脱炭素経営に向けた取組を支援します。

新 中小企業等省力化支援事業 100万円

人手不足解消に向け省力化に取り組む中小企業等に対し、国の「中小企業省力化投資補助金※」に上乗せ支援を行う。

1 概要

- 対象者：市内の中小企業等
- 補助率：対象経費の1/4
- 上限額：100万円



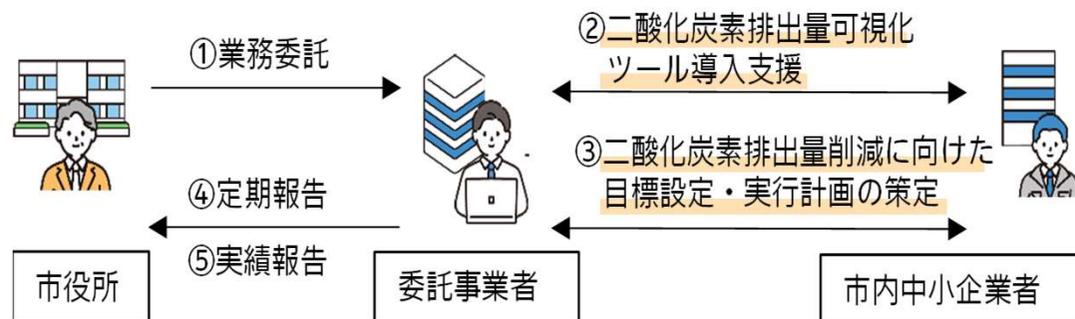
※国の中小企業省力化投資補助金
 人手不足解消に効果がある省力化製品をカタログから選んで導入し、その経費の一部を補助（中小企業庁：補助率1/2）。簡易で即効性がある中小企業等の省力化投資を促進する。



新 中小企業等脱炭素経営促進事業 300万円

企業活動に伴う、電気・ガス等のエネルギー使用状況やエネルギー種別に応じた二酸化炭素排出量を数値化し、業務改善などによる二酸化炭素排出量削減に向けた目標設定及び実行計画の策定を支援する。

1 事業スキーム



2 支援対象

5社程度

⑧ 企業誘致及び立地企業の事業拡大を推進



582万円

～企業誘致活動事業～

財源区分：補助 その他

展示会の出展やトップセールスによるPR活動、並びに立地企業交流セミナーの開催を通じ、企業の誘致及び立地した企業の事業拡大を推進します。

⑧ (仮称)こおりやま広域圏立地企業交流セミナー 500万円

交流会開催を通して、新たな販路開拓・サプライチェーンの構築等による地域産業の更なる活性化及び圏域内総生産の向上を図る。

1 開催概要

時期：令和7年12月頃

会場：郡山市内コンベンション施設

対象：こおりやま広域圏 ※拡大

定員：約300名（企業・支援機関等）

内容：第1部 基調講演

第2部 交流会・ミニプレゼン

2 補正予算の内容

セミナーの開催



【昨年度の様子 参加者：116団体242名】

⑧ 郡山市PR活動事業 82万円

各種展示会に出展し、新規立地や生産設備増設意向のある企業情報等を収集するとともに、本市の支援制度や立地環境をPRする。

1 出展予定

※赤字：6月補正分

	ものづくり ワールド東京	REIF ふくしま	メディカル フロンティア ふくしま	メッセゴヤ 2025
概要	国内最大級の 製造業展示会	再エネ関連展 示会	医療機器産業 展示会	国内最大級の 異業種展示会
開催地	千葉市	郡山市	郡山市	名古屋市
日程	7/9～11	10/16～17	10/29～30	11/5～7

2 補正予算の内容

メッセナゴヤ
への出展



【開催の様子（メッセナゴヤ2024）】

新 日本遺産「一本の水路」RPGアプリの制作



458万円

(債務負担行為含む)

財源区分：補助 県3/4

～日本遺産魅力発信推進事業の一部～

一本の水路のストーリーを活かしたスマホアプリ形式のRPG（ロールプレイングゲーム）を制作して、ゲームを通じた観光誘客や地域活性化を図ります。

1 背景

- 地方創生RPG（ご当地スマホゲーム）が注目されている
- 歴史や自然、特産品やグルメを遊びながら学べる
- 「一本の水路」の歴史ストーリーはRPGを構成する要素が多く、親和性が高い

【イメージ】
淡路島観光協会
日本遺産RPG
はじまりの島

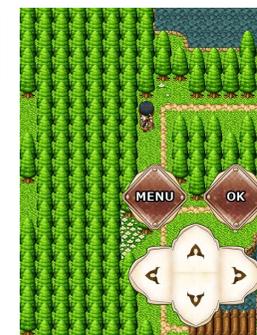
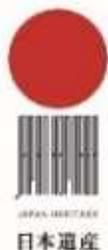


2 特徴・効果

- ①ワークショップによる市民参画型のゲーム制作
⇒ゲームを通じたまちへの愛着を深める
- ②リリースイベントやSNS等による情報拡散
⇒情報が拡散し「一本の水路」の認知度が向上する
- ③GPS機能を活用して現地を訪れると特別アイテムや割引クーポンが入手できる
⇒観光誘客と交流人口の増加につながる
- ④日本遺産を活かしたゲームによる魅力発信
⇒20～40代の新たなファンを獲得

3 スケジュール

令和7年度									令和8年度									
7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
プロポーザル・契約締結			デモ版制作・モニタープレイ						フィードバック・検証・本番環境アプリ制作						ゲームリリース・リリースイベント			
			ワークショップ		モニター		ワークショップ			ワークショップ				モニター				



郡山ユラックス熱海長寿命化対策の実施



1,786万円

財源区分：市債

～郡山ユラックス熱海長寿命化事業～

郡山ユラックス熱海は、熱海町のスポーツコンベンション施設として重要な施設であり、開館から36年が経過し施設全体の老朽化が激しいことから、施設の長寿命化を行います。

多目的ホール通路床張替

○実施内容

- ・ 通路部床の不陸調整
- ・ 通路部床の張替
(カーペットタイル⇒ビニル床シート)



【実施場所】
多目的ホール（C棟）
通路

郡山ユラックス熱海全景

長寿命化事業

令和6年度から設備の重要部分に係る大規模改修工事を行っています。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
給排水設備全面改修		改修工事	
調光装置及び舞台照明修繕		改修工事	
稼働椅子改修		改修工事	
浴場施設等改修 (温泉・プール)		改修工事	
多目的ホール通路床張替		改修工事	
		全館休館 (R7.11～R8.7)	

休館・リニューアル

- 施設を順次休館し、令和7年11月に全館休館となります。
 - 現在、令和8年7月下旬のリニューアルオープンを目指し、改修工事を行っています。
- ※ 休館期間は工事の進捗状況等により変更となる場合があります。

④ こおりやま広域圏の魅力向上策促進

～連携中枢都市圏推進事業～

こおりやま広域圏連携中枢都市圏の自治体それぞれの魅力や取組を圏域住民等に広く発信することにより、関係人口の創出を図ります。

④ 1 360°空撮パノラマ撮影情報発信

544万円

こおりやま広域圏の各市町村を対象として、ドローンを活用した高画質な360°実写パノラマ画像によるデジタル観光マップを各市町村と共同で制作します。

- ・こおりやま広域圏（郡山市除く）の16市町村を1か所ずつ撮影スポット等を紹介

広域圏へ
拡大

郡山市デジタル観光マップ

包括連携協定を締結しているリコー・ジャパン(株)様からのご提案により制作、今年1月完成



《掲載サイト》



【郡山市中心部】



【阿武隈川】

広域圏ポータルサイトに掲載

各市町村のシティセールスに活用

広域圏の
関係人口増

④ 2 デジタルパンフレット更新

326万円

現在活用しているデジタルパンフレットの内容を最新の情報に更新するなど、こおりやま広域圏の更なる周知拡大を図ります。



《掲載サイト》

④ LINE連携で図書館サービス向上

— 図書館情報システム更新に伴うサービス拡大 —
～奉仕活動事業～



29万円

財源区分：単独

令和7年10月からの「図書館情報システム」更新に合わせ、5つの新サービスを提供します。その一環として、SNSアプリ「LINE」と連携した新サービスを展開します。

5つのカイゼン



- 貸出冊数を1人5冊から10冊に拡大
- 県内初** マイナンバーカードでも貸出OK
- 図書館全13分館がオンライン化 (11月～)
- DVD、CDが中央・地域館で受取/返却可能
- 県内初** スマホひとつで貸出OK (LINE)

【9月はシステム更新・蔵書点検のため臨時休館します】

種類	休館日	備考
アサカ理研 郡山中央図書館	9/ 1(月)～	9/30 (火) まで ご迷惑をおかけします。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。
希望ヶ丘、安積、 富久山図書館	9/15(月)～	
分館(10館)	9/ 8(月)～	
電子図書館 (Web)	休まず、ご利用いただけます	

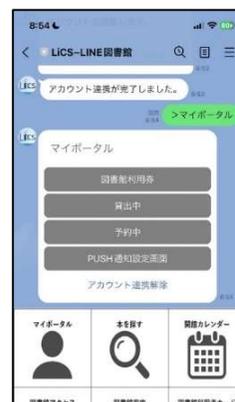
新機能

スマホひとつで完結！

【利用者向け機能をLINE上に集結】

利用者バーコードを表示

貸出・予約一覧の確認



図書館公式アカウント

トップページに利用者が必要な情報を集約



バーコード表示

バーコード表示で貸出カードの読み込み不要



資料検索

LINEで検索が可能となり、詳細はwebリンクへ

LINE活用のメリット

- ① 図書貸出カードのデジタル化！
- ② 通知機能による情報発信(予約割当)を可能に！
- ③ LINEだから、幅広い年齢層の利便性向上へ寄与！
- ④ ペーパーレス化の促進(レシート、連絡ハガキ削減)

〔拡〕 旧豊田貯水池の利活用を推進

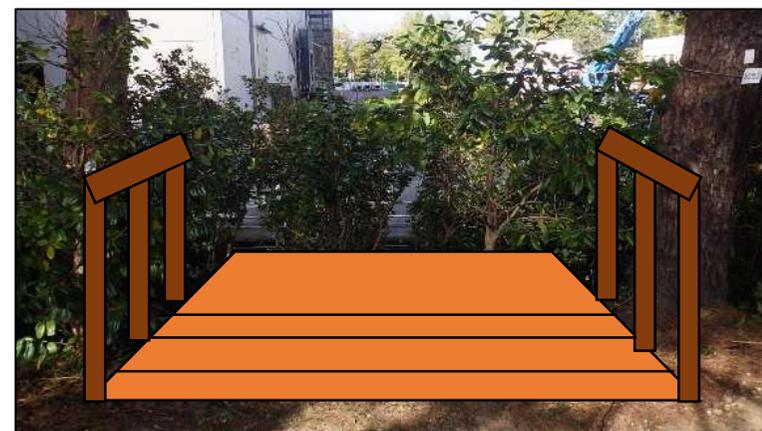
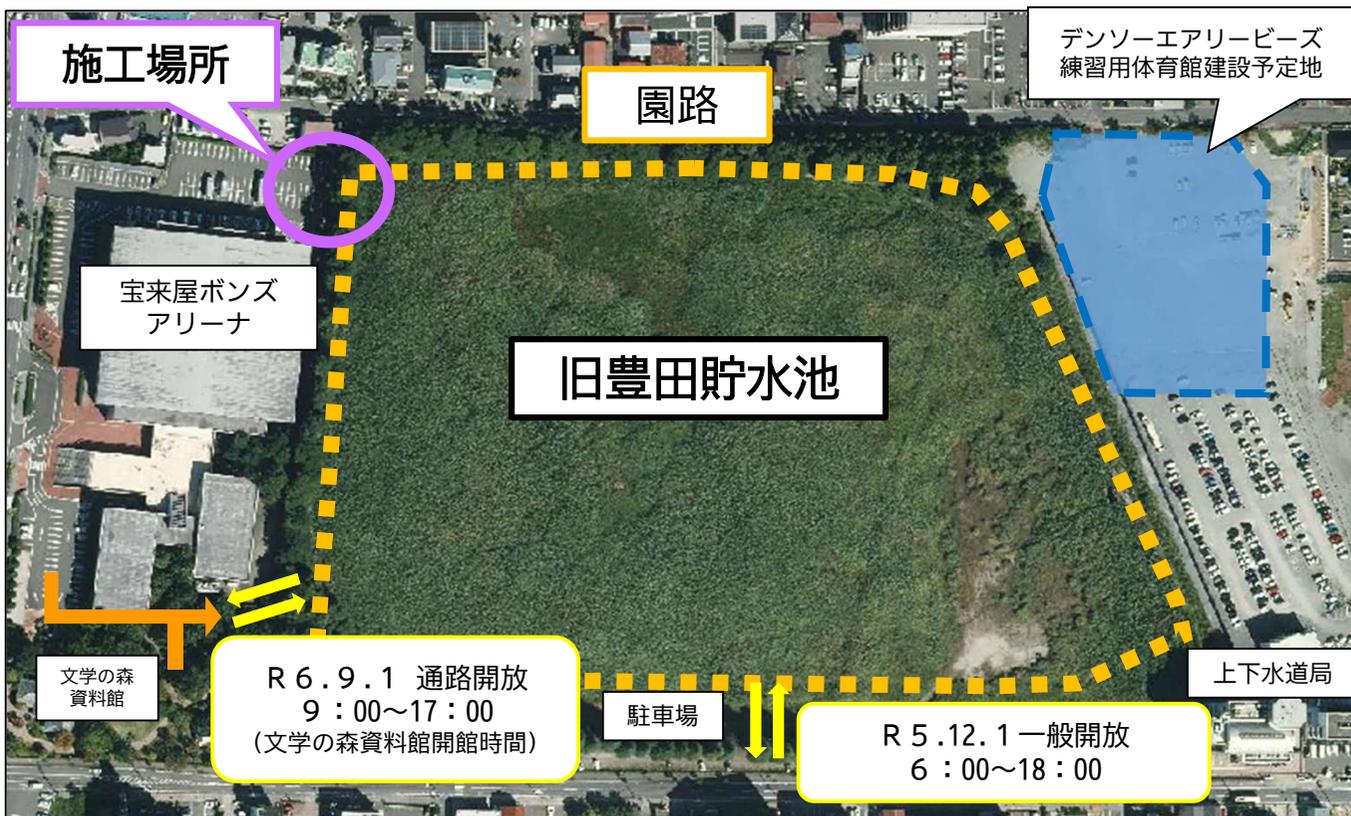
～旧豊田貯水池利活用事業～



802万円

財源区分：単独

市民の皆様から利活用に向けた意見を広くいただくため、宝来屋ボンズアリーナの北側と自由に往来できる通路の整備を行い、開成山地区との回遊性をさらに高めます。



【整備イメージ】

整備内容

通路整備業務委託 802万円

(内訳)

- 通路整備業務 672万円
幅員：約3m
階段・看板設置
- 支障木伐採業務 130万円

事業スケジュール

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
通路整備					供用開始予定			

② 愛宕川（善宝池）等の浸水対策を実施

～普通河川改修事業～



3億2,466万円

財源区分：単独・市債

郡山市が管理する普通河川愛宕川（善宝池）、宮南川において、河川改修及び河道掘削等の浸水対策を進めます。

② 愛宕川（善宝池）：富久山町久保田地内

3億96万円

② 宮南川：逢瀬町多田野地内 2,370万円

- ①放流工に伴う污水管移設補償
- ②池底掘削工事
- ③外周道路詳細設計
- ④愛宕川測量・地質調査

- ①河川改修工事 L=50m
- ②土地購入等



改修により善宝池の貯留量を約2倍に拡大し、周辺地域の浸水被害を軽減

〔拡〕 消防団の活動拠点の充実

～消防力整備事業～



239万円

財源区分：単独

老朽化及び活動スペースの狭隘化等が進む郡山中央地区隊第3分団第1班（旧小原田班）車庫詰所の移転整備に向け、用地測量等を実施します。

既存車庫詰所概要（令和7年4月1日現在）

- 所在地：小原田4丁目257
- 建築年月：昭和43年3月（築57年経過）
- 敷地面積：119.80㎡（市有地）
- 延床面積：90.72㎡
- 所属団員数：26人
- 主な装備：消防ポンプ車1台、ボート1艘



【現在の車庫詰所】



【壁の亀裂】



【狭隘な車庫内】

6月補正予算の内容

- 実施内容：用地測量、地質調査、不動産鑑定等

《移転新設後のイメージ》

郡山中央地区隊第1分団第2班詰所
（大町一丁目・令和2年度移転新設）

※消防団員数及び敷地面積等により、
車庫詰所規模及び構造等が異なります



（防災危機管理課） 25



新 0歳児を養育する方へ給付金を支給

1億632万円

～0歳児養育支援給付金給付事業～

財源区分：重点支援地方交付金、一般財源

郡山市は、ベビーファースト推進の一環として、「こどもが安心して生まれ、育つまち郡山の実現」を目指し、物価高騰の影響を受けている子育て世帯の生活支援（光熱水費等）として、令和7年度に出生した新生児1人当たり5万円を支給します。

1 対象者

対象者 要件	令和7年4月1日～令和8年3月31日までに生まれた子を養育する市民
対象者数	約1,800人

2 給付内容・方法

申請 及び 給付方法	申請不要・・・プッシュ支給 <ul style="list-style-type: none"> 8月1日時点で郡山市から児童手当を受給している方 ⇒ 児童手当の受給口座に振込み
	申請が必要・・・受付後、速やかに給付 <ul style="list-style-type: none"> 8月1日時点で郡山市から児童手当を受給していない方 (転入者、出生者、公務員等) ⇒ 申請のあった口座に振込み
	【申請方法】 <ul style="list-style-type: none"> 出生届時に窓口で申請 申請書等を対象者に郵送し、郵送申請

3 予算内訳

- ・扶助費 9,000万円 (一人当たり5万円×1,800人)
- ・事務費 1,632万円 (システム運用、郵便代等)

4 給付スケジュール

令和7年 9月	10月	11月	12月	令和8年 1月	2月	3月
プッシュ支給 (9月)						
	★					
	申請受付開始			申請受付分の給付 (以降、随時速やかに支払)		
						受付終了(4月末)

(こども総務企画課、子育て給付課)

都市計画法第34条第12号（市街化調整区域における開発許可等の基準）に基づく条例の制定について



1 条例制定の背景

□区域区分(市街化調整区域)の決定

都市計画法第7条に基づき、本市では、1970(昭和45)年10月15日に区域区分が決定され、約55年にわたり、市街化調整区域において、法律で認められた建築物以外の建築物の建築が制限されてきました。



□都市計画法第34条第12号を活用した条例の制定

近年の気候変動、人口減少・超高齢社会の進行等に伴う、多様な土地利用に対する社会的要請が高まっていることから、本市では、市街化調整区域内の区域を指定し、予定建築物等の用途を定め、一戸建て住宅等の建築が可能となる条例を制定します。

2 条例の概要

郡山市都市計画マスタープランの土地利用方針に基づき、都市計画法第34条第12号に基づいた「郡山市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例」を制定します。

区域設定	<ul style="list-style-type: none"> 市街化調整区域のうち、50戸以上の建築物が連たんしている既存集落で相互間が50m以内の区域。 但し、農振法で定められた「農用地区域」及び政令で定める災害ハザードエリア(土砂災害警戒区域、浸水による早期立ち退き避難区域等は含まれません。) 指定区域(案) 63地区 	
	指定区域(案)のパブリックコメントの実施 令和7年3月10日(月)から4月9日(水)まで	
建築物の用途	・自己用の一戸建て住宅 	・兼用住宅 (住宅で事務所、店舗その他これらに類する用途を兼ねる) 

既存集落区域内での一戸建て住宅等の開発・建築規制緩和

3 指定区域のイメージ

①50戸連たんエリアの抽出

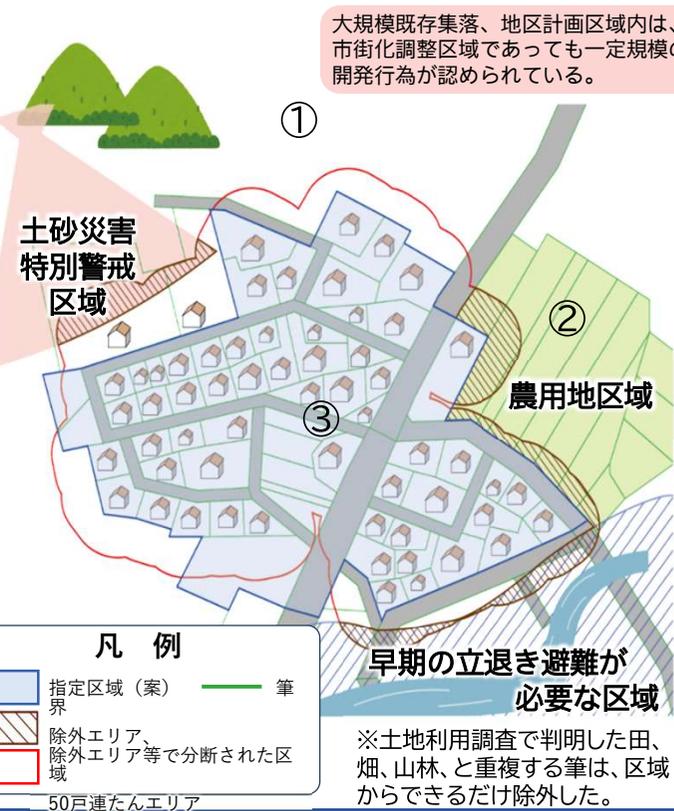
建築物が概ね50m以内の間隔で50戸以上連たんしている区域(50戸連たんエリア)を抽出

②除外エリアの除外

開発が制限される農用地区域や土砂災害特別警戒区域などのハザードエリアが重なる区域を①から除外

③区域の設定

①②の検討を基に、地形地物(道路、水路等)、または筆界で区域を設定



大規模既存集落、地区計画区域内は、市街化調整区域であっても一定規模の開発行為が認められている。

早期の立退き避難が必要な区域

※土地利用調査で判明した田、畑、山林、と重複する筆は、区域からできるだけ除外した。

4 スケジュール

令和6(2024)年度						令和7(2025)年度				
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
	住民説明会 11/11 5 11/26		開発審査会 都市計画審議会 1/30 1/28		パブリックコメント 3/10 ~4/9			6月定例会 上程	条例施行 7/3	

都市計画法第34条第12号（市街化調整区域における開発許可等の基準）に基づく条例の制定について



2025/7/3 都市構想部都市政策課

地区名	指定区域の数
東 部	8
大 槻	5
安 積	1
三穂田	10
逢 瀬	5
喜久田	3
日和田	5
富久山	5
熱 海	6
田 村	11
中 田	4
計	63



「篤志奨学資金給与基金」への御協力をお願い

篤志奨学資金給与基金は、進学的意思と能力を有しながら、経済的理由により、修学困難と認められる郡山市の学生を支援するために設置された基金です。

基金の財源はすべて篤志家からの寄附金によって構成されています。

ここ数年、多くの皆様の本基金への御理解を賜り、多大なる善意をいただくことができたため、郡山市篤志奨学資金奨学生の新規採用者を増員し、平成30年度は15名、31年度は18名、令和2年度は20名、3年度は22名、4年度からは38名の新規採用枠となっております。

郡山市の奨学資金制度

本市の奨学資金制度では、高等学校に進学する生徒を対象として次の奨学生を採用し、高等学校への在学期間中に思う存分学ぶことができるよう、返還義務のない給与型の奨学資金（月額1万円）を支給しています。



郡山市篤志奨学資金奨学生

〔令和7年度は38名を採用〕

奨学資金財源： 篤志家（社会奉仕や慈善事業を支援する方）からの寄附金を基に設立した「郡山市篤志奨学資金給与基金」の益金及び積立金

郡山市奨学資金奨学生

〔令和7年度は18名を採用〕

奨学資金財源： 市の一般財源

基金の成果

公立高校授業料無償化になった翌年平成23年以降、篤志奨学金の給付を受けた学生は、936人になり、多くの学生の学びへの想いを応援してきました。

今後も、経済的に困窮する高校生の修学を支援するため、「郡山市篤志奨学資金給与基金」への御協力をお願いいたします。

寄附金のお申し込みについて

申し込みについて、個人、団体、金額等の定めはありません。
お申し込みをいただける場合は、事務局まで連絡をお願いします。

なお、寄附金は、確定申告をすることにより、所得税、住民税の控除対象となります。
また、法人の場合は、法人税の控除対象となります。
(控除の詳細は税務署にお問い合わせ下さい。)

【事務局】

〒963-8601
郡山市朝日一丁目2番7号
郡山市教育委員会事務局
学校教育部 学校教育推進課 学務・通学路係

TEL 024-924-2431 FAX 024-935-5610

E-Mail gakkyo@city.koriyama.lg.jp



次代を担う郡山の子どもたちを対象とした

奨学資金制度の充実について御理解と御協力をお願いします

結びに、

私が政治において大切にしていること

- ・ **「誠実さ」と「粘り強さ」**
- ・ **「現場主義」と「双方向の対話」**

「選ばれるまち郡山」を合言葉に、

誰もが笑顔で暮らせる日常と、

夢を抱ける未来を築くために

誠心誠意、市政運営に全身全霊で取り組みます。